

会

派

の

意

見



文責は各会派にあります

公明党

3月定例会において令和4年度一般会計予算の審議を行い、総額340億3300万円の予算を可決いたしました。新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、感染防止対策、商工業者への事業継続のための補助、住居確保給付金や生活困窮者自立支援金などの市民生活の下支えの予算の確保をはじめ、福祉・医療・子育て支援・教育の充実・災害対策など、各分野で新規事業の展開と拡充が図られ、評価できるものです。

一般質問では災害対策に「女性視点」の重要性と地方防災会議での女性の比率を3割以上に高めるよう提案、要望いたしました。

また、意見書は「地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書」と「介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種の拡大を求める意見書」の2件を提案し、可決されました。

長岡京市は今年で市制施行50周年を迎えます。公明党は、これからの更なる発展と「住みたい・住み続けたい」まちの構築に今後も努めて参ります。

平成西山クラブ

【令和4年度予算は、総額340億円と、5年連続で過去最大】

阪急連続立体交差の具体化と長岡天神駅周辺の再整備に向けた事業など、中心市街地の整備が少しずつ目に見える形で動き始めています。防災・減災の取り組みにおいても、農業用ため池の工事、神足雨水ポンプ場貯留施設の工事、いろは呑龍への接続工事なども進んでいます。

また、高齢化が進む上で、市民の日常生活を支える足は、まちの活力

を維持する上で大変重要であります。はっぴいバスの3ルート化や補助金の創設と、大胆な交通施策も打ち出されました。

引き続き、新型コロナウイルス感染症から市民の暮らし・雇用を守る万全の対応について議論することにも、感染症を克服し、新しい生活様式、少子化対策、デジタル化、豊かな教育環境と合わせて、健全な長岡京市を次世代に継承することに対して、今なすべきことは何か、市民のお声を聞きつつ、大いに議論していきたいと考えます。

上村真造・白石多津子・田村直義

会派とは同じ意見や考えを持つ議員が集まってつくるグループのことです。
ここでは3月定例会で審議された内容について、各会派の意見を紹介します。



平成自民クラブ

令和四年度予算は新型コロナウイルス感染症対応を重点に過去最大の総額三〇億円規模で可決しました。

防災減災の分野では、神足雨水ポンプ場やいろは呑龍への接続工事、防災重点農業用ため池工事が始まる等、安全安心に対するインフラ整備に鋭意取り組むよう要望しました。

教育の分野では、学校運営協議会の設置により、各校区でのすくすく教室等特色ある学校づくりを推進し、学力向上に寄与するよう求めました。

また、市制施行50周年記念事業について話し、継承と発展をテーマに、50年を振り返り先人の取り組みに敬意を表し次の50年への礎とすること、各事業は組織横断的にプロジェクトチームで牽引するとの答弁を得ました。

2050年ゼロカーボンシティ宣言、自治振興・商工振興の条例制定、文化財保存活用など、市民と共に、そして市民のためのまちづくりを進めなければなりません。皆様と本市の歴史を振り返り、現在必要なことは何か、未来への必要な投資は何かを見極めて取り組んで参ります。

八木 浩・中小路貴司・三木常照

日本共産党

中小路市政は、この三年で下水道使用料等の値上げで年間数億円の負担増を行う一方で、現在の一・五倍の規模となる新庁舎の建設を進めています。

今年度は、国保料や後期高齢者医療保険料の値上げ等で、市民の負担は増やしなが、長岡天神駅周辺整備については、財政支出と市民の福祉や暮らしの両立が図れるのかの見通しも語られませんでした。

コロナ対策や地域経済、住民生活を支援するための国の交付金もパン

ピオの空調取り換えや新庁舎のデジタル化等コロナ対策とは言えない事業にあって、コロナ禍に基金を増やし大型開発を実行に移していく二期目であり、予算だったと言えます。

日本共産党は、コロナ禍において、自治体自らが住民の命と暮らしを守る役割を積極的に果たすよう、検査の充実、福祉事業所やケア労働者への支援、事業所の経営実態調査等を求めました。また、議会は全会一致で、ロシアによるウクライナ軍事侵略に抗議する決議、女子差別撤廃条約 選択議定書の速やかな批准を求める意見書を採択しました。(住)

輝(かがやき)

会派「輝」は、令和4年度長岡京市一般・特別・上下水道事業各会計予算について、多数の意見と要望を述べて賛成を致しました。本予算は引き続きコロナ対策を最優先と位置づけ感染拡大を最小限に抑えつつ市民生活や地域経済の下支えを念頭に、また今年市施行50周年にあたることから、これを契機とし(仮称)中小企業振興条例策定、(仮称)自治振興条例策定など次の50年につながる予算であると評価した所です。

また、一般質問では富田議員から子育て支援について8点、コロナ禍における経済対策3点、大伴議員からは子どもの医療のわかり方について2点、LINEを用いた不具合の報告について2点、進藤議員からは環境施策について3点の質問を行い、予算審査の総括質疑では進藤議員から令和4年度予算、公共施設、デジタル戦略について、宮小路議員からは教育施策、環境施策、(仮称)自治振興条例について質疑しました。

会派「輝」は引き続き市民生活の向上を目指し、考え行動できる会派として邁進いたします。

ふえいすぶつく 長岡京市議会公式 Facebook



Facebookページ「京都府長岡京市議会」では、さまざまな議会の情報を発信し、適宜更新しております。

Facebookのアカウントをお持ちの方は、今後ともどんどん「いいね!」「フォロー」「シェア」をお願いします。

Facebookのアカウントを持っていない方も閲覧できるため、ぜひ一度、ご覧ください!

☎️ QRコードからチェック!

